

2019

6  
月号

つなぐ

## 「市民活動フェスティバル2019」

参加団体  
募集!

11月10日(日) まちづくり活動プラザにて開催

秋の恒例のイベントとなっている市民活動フェスティバル。

18回目となる今年は Wave101の改修工事のため、「まちづくり活動プラザ」の体育館で開催します。「まちづくり活動プラザ」は旧入船北小学校を活用して、地域の皆さんが交流し、活動できる場所として、昨年オープンしたまさに市民活動の拠点。市民活動を広くアピールするにはぴったりの場所でもあります。会場は元小学校の体育館なので、とても広々としたスペース。今回は参加する全団体が一堂に集まるので、これまで以上に賑わい感のある、わくわくするような楽しいフェスティバルにしていければと考えています。

次の2つの部門で皆さんのご参加お待ちしております。

**展示** パネル（もしくは壁面）と長机を利用したのポスターや写真の展示、体験（ワークショップ）、リーフレットや会報の配布。



**パフォーマンス** 体育館の一部のパフォーマンススペースもしくは、舞台を利用したの、歌や楽器演奏、劇、ミュージカル、ダンスなど。パフォーマンスの内容に応じて使い分けできます。



※ヒールのある靴での利用はできません

## 募集要項

日時 11月10日(日) 10時～16時

申込期間 6月12日(水)～6月30日(日)

場所 浦安市まちづくり活動プラザ  
体育館

申込方法

所定の申込用紙に記入の上、市民活動センターに持参、Eメール、FAX（送信後必ず着信確認のお電話をお願いします）にてご提出ください。

募集  
団体数  
展示 30 団体  
パフォーマンス 10 団体  
※いずれも先着順

第1回実行委員会にご出席ください。

日時：8月4日(日) 10時～11時30分

場所：まちづくり活動プラザ3階 第1多目的室

TSU・NA・GU

# 今年もたくさんの市民活動団体が参加！

## 浦安春まつりにて活動を発信

2019年5月18日(土)・19日(日)の2日間、浦安公園と境川にて浦安春まつりが開催されました。浦安春まつりとは、「カフェテラス in 境川」「植木まつり」「環境フェア」「多文化共生フェア」の4つのイベントの総称です。今年も多数の市民活動団体が参加。来場者のみなさんと交流し、活動内容を発信する良い機会になりました。



### ■ 芝桜の会

桜色ののぼりが目をひくブースは、芝桜の会によるもの。震災で元気がなくなってしまった浦安を芝桜の美しい街にしようと、活動を開始しました。ブースでは芝桜の鉢植を販売。並べられた芝桜の前で足を止めた来場者のみなさんに対して、芝桜の実物を見せながら熱心に語る会員のみなさん。現在、芝桜のプランター栽培体験をしたいという小学校を募集中とのこと。



### ■ 総合公園友の会

子どもたちがアメリカザリガニを取り囲んでにぎわっているブースがありました。総合公園友の会は、総合公園にあるビオトープを整備し、自然観察会を開催しています。近年はアメリカザリガニなどの外来種により、日本の在来種が駆逐されつつあります。飼育できなくなったアメリカザリガニなどの外来種を自然環境に捨てないようにと、子どもたちへメッセージを発信しました。



### ■ 浦安水辺の会

境川では海の安全と豊漁を祈願する水神祭を20年ぶりに再現。浦安の海や川、船に関わる団体が集いました。境川フェアでEポート体験を提供している浦安水辺の会も船を漕いで参加。浦安水辺の会は、水辺の大切さを伝えるために活動しています。Eポート体験は今年も大人気で、来場者のみなさんがEポートに乗って境川に親しむ機会をつくりました。



### ■ ファイバーリサイクルうらやす

色とりどりの布ぞうりが並べられたブースは、ファイバーリサイクルうらやすによるもの。古着などの布をリサイクルする活動をしています。ゆかたをリメイクした丸洗い可能なぞうりを販売。ブース内で手づくりする様子を見学することができました。購入した方は「健康にいいとのことだったので気になっていました。室内履きに利用する予定」と話しました。



### ■ チーム@エコすき

エコと紙すきが好きなメンバーによってはじまったチーム@エコすき。ビーナスプラザを拠点にして、牛乳パック紙すき教室など環境学習イベントを多く開催しています。ブースでは段ボールを使った工作に、子どもたちが夢中で取り組んでいました。他にも、太陽熱でお湯を沸騰させたり、目玉焼きを焼いたり、子どもたちがワクワクするような体験を提供しました。

青々とした芝生が広がる浦安公園と川面がきらめく境川に人々が集い、浦安の伝統や自然、環境、多文化共生に親しみました。活動内容について熱心に語る市民活動団体のみなさん、質問を交えながら話に聞き入る来場者のみなさん、そんな光景が会場のあちらこちらで見受けられました。初夏を思わせる日差しのもと、市民活動への熱い思いと活気に満ちた会場。浦安らしい時間が、そこにはありました。

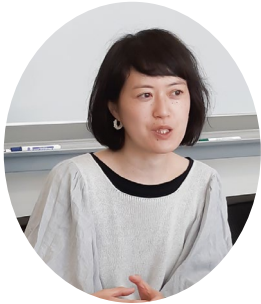
(市民ライター 西橋友理)

## くらしを彩る ボランティア

volunteer interview

# “楽しい” “好き” がキーワード

ボランティアをくらしの一部として、イキイキと活動している二人の女性。その原点やボランティアへの思いをきいてみました。



いけだ ともこ  
池田 倫子さん

富岡在住 30代

浦安ドキュメンタリーオフィス  
メンバー

「浦安ドキュメンタリーオフィス」では、ドキュメンタリー映画の上映会や映画祭の運営を行っています。平日は仕事をしながら、SNS やホームページを担当し、打ち合わせや上映作品選定にも参加。「多忙な時期もあります」と苦笑しながらも、「好きな活動に関わること自体が楽しいので、負担はないです」と語るステキな笑顔が印象的でした。

### 活動を始めたきっかけは？

私自身がドキュメンタリー映画から刺激を受けたことがきっかけで、ドキュメンタリー映画を通して社会貢献できないかと考えました。駅で偶然目にしたチラシで上映会に足を運び、自らボランティアに応募。早速その直後に控えていた映画祭から関わることができ、今年で5年目になります。

### 活動の魅力、今、感じている課題は何？

初めてドキュメンタリー映画を見た人に、生活の中で“考えるヒント”を見出してもらえることが嬉しいです。また、若い世代にもっとドキュメンタリー映画を知ってもらいたいと、チラシや SNS でお知らせしていますが、情報が十分行き届かず、なかなか見に来てもらえない、これが課題だと思っています。

### 普段、心がけていることや “これから”についてお聞かせください。

幼い頃から偏見の目を持たないようにしています。何でも肯定的に受け入れられる価値観も大事にしたいですね。目に見える効果がすぐには出なくても、社会に思いを馳せる事は大切だと感じています。今後は時間を見つけてお休み中のUIFA（浦安市国際交流協会）にも参加したいと思っています。また、自分の興味があるものやできることに触れ続け、手を伸ばして成長していけたらと思っています。



つかもと ゆうこ  
塚本 優子さん

北栄在住 30代

ENJOY CAPメンバー

二人の女の子のお母さんでもある塚本さん、気になるのは、やはり子育てのこと。子どもたちや周りの大人を対象に、子どもへの暴力防止プログラムを実施している団体「ENJOY CAP」のメンバーとして、子育てとの両立を図りながら活動中です。また、生協の理事としても活動されてきたとのこと。お話を伺う内に、やさしい、柔らかな雰囲気からは一見想像のつかない行動力や芯の強さも伝わってきました。

### 活動を始めたきっかけは？

子育てに悩みを抱えていた4年前、インターネット検索で出会ったのが CAP でした。もし子どもが暴力を受けたり苦しんでいたときに寄り添ってあげられたらという気持ちが、身内の過去の経験に対する思いと重なり、参加を決意。市外で二日に渡る研修がありましたが、家族の協力を得て受講しました。また、CAP 関連の本を集めた童話館を訪ねて、長崎まで出向いたこともあります。

### 普段心がけていることは？

ワークショップでは「周りのお母さんたちから教えてもらっている」という姿勢を大切にしています。子育てにおいては、まずは子どもの気持ちを受け止めることを心がけて接しています。

### 今後の活動は？

生協の理事として訪問した施設の食堂では、温かい状態で食事を出された経験がないために、温かい食事を受け付けられない子どもの姿に衝撃を受けました。今後何らかの形で、子ども食堂にも関わっていけたらと考えています。今は時間の制約がありますが、子どもたちの成長に合わせて活動の幅を広げていきたいと思っています。

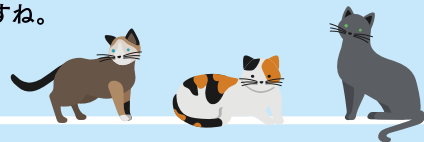
自分自身も“楽しい”・“好き”という気持ちで満たされ、心が豊かになるボランティア。お二人のお話をうかがうにつれ、「周りの人々のため」だけではない、ボランティアの新たな魅力が見えてきました。その時々で面白そうなこと、気になることを見つけ、バランス良く活動されているお二人。その活動は今後ますます広がっていくことでしょう。

(市民ライター 武田めぐ)

ペットとしてはもちろん、そのしぐさの魅力からテレビ番組もあるほど人を癒す存在である猫。その一方で、繁殖力の高さゆえ、野良猫は地域の環境問題（フンやゴミをまきちらすなど）になっているという現実もあります。もともとは飼い猫が捨てられた結果の野良猫。そのような猫をなくすために活動しているのが「Share Life」です。

市の登録ボランティアである愛護員が野良猫に避妊・去勢手術を施し、地域猫として面倒をみる活動のサポートやその普及活動、地域猫の対象でない仔猫を保護し、「譲渡会（里親探し）」を行われています。中でも注力されているのが「譲渡会」です。

「地域猫（繁殖させない）で野良猫を増やさない。譲渡会で野良猫を減らす。2つは野良猫を無くすための両輪です。ただ、飼い猫の寿命は10年以上でも、地域猫は5年未満。仔猫の死亡率は非常に高いです。餌などはもらえているとはいえ、屋外での生活環境はやはり厳しいです。事故の危険も高く、医療行為を受けるのも難しい。できれば穏やかに過ごせる飼い猫となって欲しいです。里親の愛情をいっぱい受けた猫は、それは甘えるようになるんですよ」と会のメンバーの皆さん。少しでも多くの保護猫が里親に出会えるといいですね。



## 募集

### 備品ロッカーの 利用団体を募集しています

市民活動センターでは、市民活動センター登録団体を支援するため、活動に必要な備品などを一時保管しておくための備品ロッカーを貸し出しています。

■ **申込期間** 6月2日(日)～6月21日(金)

■ **申込方法** 直接、市民活動センターへ

※ 申込多数の場合は抽選となります。

#### 備品ロッカー

- サイズ：高さ 56 cm × 幅 29 cm  
× 奥行き 49 cm (鍵付き)
- 貸出数：27 個
- 利用期間：令和元年 7月～12月(6ヶ月)

## 講座

### スタートアップ講座のご案内

センターホームページ、広報活動に役立つ情報、大型プリンタなどの便利な備品利用について、知っていたく講座を開催しています。

- センターホームページ活用方法
- センターの団体支援
- 印刷機の使用方法和原稿作成時の注意事項
- 大判ポスター・横断幕作成方法

■ **日時** 毎月第2木曜日 10:00～12:00  
毎月第2金曜日 18:30～20:30  
毎月第2日曜日 10:00～12:00  
※ 上記日程から希望日時を選んでください

■ **場所** 市民活動センター

■ **対象** 新規利用承認団体  
※ 既に利用している団体も可

■ **定員** 2団体8名まで

■ **対象** センターまで電話、FAX、Eメールにてお申し込みください

## 編集後記

- 5月25日・26日の2日間、市庁舎1階市民ホールで、「東京2020オリンピック・パラリンピック」都市ボランティアの面接が行われました。浦安エリアでは150人の定員に対して536名と多くの応募があり、当日は書類選考で選ばれた10代～70代の224名が参加しました。いずれもボランティア意欲にあふれた元気な方ばかり。
- 会場は担当者を圧倒するほどの熱気でいっぱいでした。都市ボランティア体験をきっかけに市内でのボランティア活動がより広がる可能性を感じました。



問い合わせ・申込みは  
市民活動センターまで

発行：浦安市市民活動センター  
2019年6月10日

〒279-8501 千葉県浦安市猫実1-1-1 (市庁舎1階)  
TEL: 047-305-1721 / FAX: 047-305-1722  
E-mail: shiminkc@jcom.home.ne.jp  
URL: <http://u-shimin.genki365.net>